

# 大拙館講座



## 1946年の大拙

— 戦後の光として —

今回の大拙館講座は、戦後1946（昭和21）年9月1日に撮影された、鈴木大拙とそれを囲むように四人の英国人が映った一枚の写真を中心に、同年4月に大拙がなした御進講（仏教の大意）と重ね合わせ、この写真のシンボリックな意味を様々な次元からお話いただきます。

大拙が住んでいた鎌倉・円覚寺境内の正伝庵の庭で撮影されたと思われるその写真に映る四名の英国人は、J. ブリンクリー、C. ハンプレーズ、L. ブッシュ、R. H. プライスです。実に、毅然とした姿で映っています。

さて、彼らは各々どんな理由で日本に滞在しており、またなぜ大拙を訪ねたのでしょうか。さらに、その写真が語りかける「霊性的世界」はその後どう展開し、また今後どうなっていくのでしょうか。

講 題 1946年の大拙 — 戦後の光として —

講 師 ゆさ みちこ 氏（西ワシントン大学教授）

日 時 平成29年1月28日（土）14:00-16:00

会 場 金沢歌劇座 第6・7会議室 金沢市下本多町六番丁27番地

受講料 500円 ※受講時に現金でお支払いください。

定 員 50名 ※12月6日（火）より電話にて申し込み受付開始。



鈴木大拙館  
D. T. SUZUKI MUSEUM